

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 1

入学試験問題

(注) 問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙1枚に解答すること。

試験科目 英語	受験番号
氏名	

[I]

※

1. 次の英文を読んで、その全文を訳しなさい。

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

2. この研究の知見とインターネットにおける「エコーチェンバー(echo chamber)」現象との関連性を論じなさい。

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 2

入学試験問題

(注) 問題用紙に直接解答すること。

別紙の解答用紙2枚に解答すること。

試験科目 英語	受験番号
氏名	

[II] 以下は、『毎日新聞』の英語版のウェブサイトにて、2022年8月29日付で掲載された社説 (ERITORIAL) の一部です。日本語に全訳しなさい。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 1

入学試験問題

(注) ■ 別紙の解答用紙 2枚以内に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

[I] 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

※

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

(出典：佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店, 1998年)

1. 筆者がこの論考で説明している映画とテレビの違いを、あなたの体験を交えて説明しなさい。
2. リースマンはなぜ1950年に、「市民は、テレビ時代に「孤独な群衆」となった」と考えたのか、「孤独な群衆」の意味を概説したうえで説明しなさい。
3. この論考は、1998年に、活字からテレビへの「社会化メディア」の変化と、これに伴う市民の変化について書いている。テレビからインターネットへと「社会化メディア」の中心が変化した今日の市民の状況について、あなたの考えを、この論考と照らし合わせながら述べなさい。

同志社大学大学院社会学研究科

2023年度 秋期実施

課程：前期

専攻：メディア学

No. 2

入学試験問題

- (注) 問題用紙に直接解答すること。
 別紙の解答用紙1枚に解答すること。

試験科目 専門に関する論文	受験番号
氏名	

[II] 次の文章を読み、下の設問に答えよ。

※

二〇一四年。
出典：武田徹・藤田真文・山田健太監修『現代ジャーナリズム事典』三省堂、

(著作権の都合上、問題文を掲載していません)

1. 新聞事業令第4条が制定された理由を説明しなさい。
2. 新聞社や放送局などマスメディアが合併することについて、あなたの考えを述べなさい。